

# 胸壁浸潤肺癌に対する外科手術を 受けた患者さんへ 研究協力をお願いについて

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、附属病院長の承認を得て行っているものです。

## 1. 研究の対象

2000 年 1 月から 2024 年 3 月までに、当科で胸壁浸潤が疑われた原発性肺癌に対して手術を行った症例を対象としています。

## 2. 研究の目的について

胸壁浸潤肺癌に対する術前治療を含めた集学的治療は確立されていません。当科では胸壁浸潤を疑われた原発性肺癌に対して深達度によっては外科的治療のみではなく術前導入化学療法や術後補助療法などの集学的治療を行っています。その治療戦略の妥当性と意義を探ることが本研究の目的です。

## 3. 研究の方法について

2000年1月から2024年3月までに、胸壁浸潤が疑われた原発性肺癌に対して外科的治療を行った症例について後方視的に治療経過から治療成績及び予後因子を検討します。その際の治療経過の結果などを電子カルテのデータから情報収集します。

## 4. 研究の概要

研究課題名 胸壁浸潤肺癌に対する治療戦略～アプローチ法と集学的治療の有効性～  
金沢大学医学倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで  
目標数 全体78例（金沢大学：78例）

## 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：初回手術日，手術記録，画像所見，合併症や再発の有無

## 6. 外部への試料・情報の提供・公表

外部機関に情報を提供することはありません。研究成果は第77回日本胸部外科学会定期学術集会で発表し、胸部外科系学術雑誌に投稿することがあります。学会発表や論文掲載の際は金沢大学呼吸器外科のWebサイト上に公開します。

## 7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心

の注意を払います。

## 8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

## 9. 研究組織

金沢大学附属病院 呼吸器外科	助教	齋藤大輔
	教授	松本 勲
	講師	懸川誠一
	助教	和田崇志
	医員	西川悟司

## 10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究における使用機材や抗生剤などの使用薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。従って、私はこの研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

### 1 1. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2024年10月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

### 1 2. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：金沢大学 呼吸器外科  
研究責任者：齋藤大輔（金沢大学附属病院 呼吸器外科 助教）  
問合せ窓口：金沢大学呼吸器外科事務局  
住所：金沢市宝町13-1  
電話：076-265-2354